

正誤表・更新情報

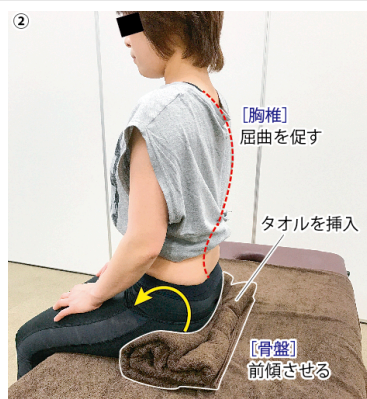
本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2019年4月5日）

■第1版 第1刷（2018年11月10日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第5章-2 骨盤帯痛に対する介入					
158	上から17行目	直接的に動作を 変 させられない場合は	直接的に動作を 変 化させられない場合は		19/04/05
165	図19②	〔 下位胸椎, 腰椎 〕屈曲を促す	〔 胸椎 〕屈曲を促す	※1を参照	19/04/05
166	図19 説明文1行目	骨盤の前傾を促すことで、下位胸椎と腰椎の 屈曲 を促す	骨盤の前傾を促すことで、下位胸椎と腰椎の 伸展 を促す	※1を参照	19/04/05
165	図20b	〔 下位胸椎, 胸椎 〕屈曲させる	〔 胸椎 〕屈曲させる	※2を参照	19/04/05
166	図20 説明文2行目	骨盤の前傾を促すことで、下位胸椎と腰椎の 屈曲 を促す	骨盤の前傾を促すことで、下位胸椎と腰椎の 伸展 を促す		19/04/05
166	図23 説明文	方側 への荷重を促したい場合は、	片側 への荷重を促したい場合は、		19/04/05
第5章-3 Motor control障害に対する介入					
170	上から17行目	立位から腰椎中間位を保 つ ながら	立位から腰椎中間位を保 ち ながら		19/04/05
179	19行目	③ 抵抗をかけてその場で保持 (図16d)	③ 補助をしながら上肢挙上 (図16d)		19/04/05
182	3~6行目	①四つ這い位から、腰椎は中間位に保ったまま、手の位置は変えずに殿部を踵に近づけるように(正座をするように)動いていく(図21). ②四つ這い位から、胸椎を動かさないように保ったまま、骨盤を 前傾・後傾 を行う(図22).	①四つ這い位から、腰椎は中間位に保ったまま、手の位置は変えずに殿部を踵に近づけるように(正座をするように)動いていく(図21, 22). ②四つ這い位から、胸椎を動かさないように保ったまま、骨盤の 前傾・後傾 を行う。		19/04/05
プロフィール					
244	16行目	認 知 理学療法士(運動器)	認 定 理学療法士(運動器)		18/11/13

図表

※1



※2

b

